

今すぐ役立つホームページ①

NACSIS Webcat

<http://webcat.nacsis.ac.jp/>

私たち図書館員の日常業務ともいえる文献入手業務を行う上で、大変便利でありがたいサイト「NACSIS Webcat」を紹介します。

これは、学術情報センターが提供している総合目録データベースの Web上の検索サービスです。

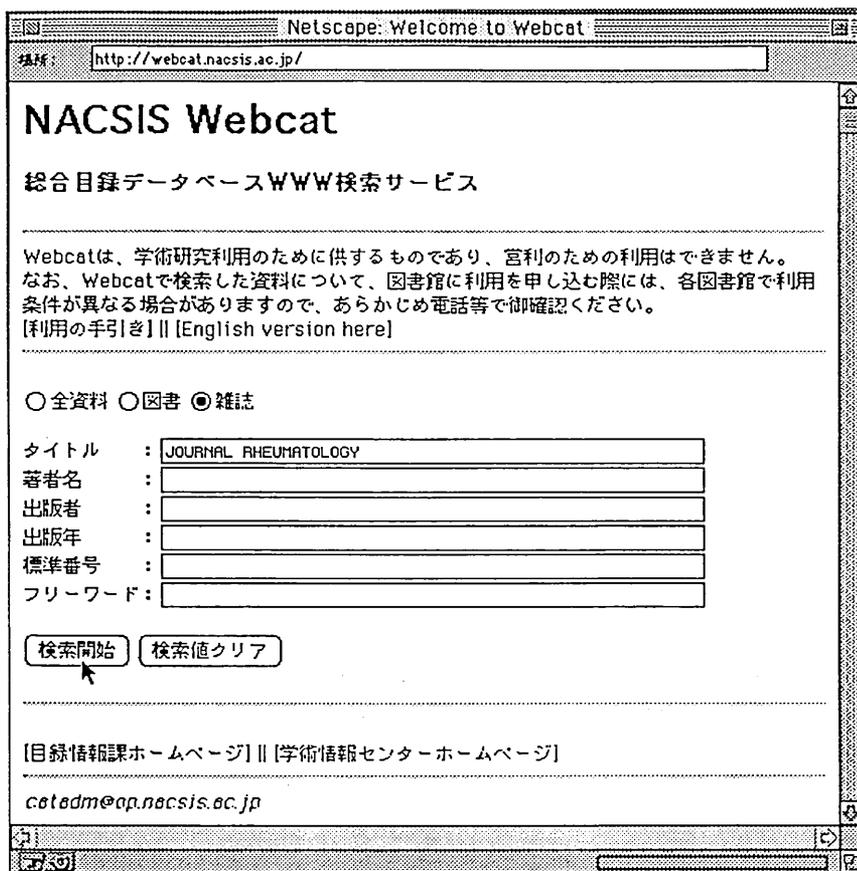


図 1

少し前までは、大学図書館などの所蔵館を調べるには冊子体の総合目録などを備え、分厚く重いその目録をせっせと引くしかありませんでした。その後、JOIS のゲートウェイ利用でNACSIS-IR へのアクセスが可能になりオンラインでも所蔵館を調べることができるようになった時には、その速さと手軽さに感激したのですが、さらにそれがインターネット上でも無料で検索することができるようになったのです。登録の必要もなく、誰でも簡単にアクセスし検索することができます。

さて、上記の URL にアクセスすると、早速 [図 1] のような検索画面が現れます。まず、データベースを「図書」か「雑誌」、もしくは両方合わせた「全資料」にします。

検索は、タイトル(書名、別名、シリーズ名)、著者名(著者、编者、翻訳者)、出版者(出版者、発行者)、標準番号 (ISSN、ISBN) のほか、フリーワード(タイトル、著者名、件名、分類)から可能です。漢字、カタカナ、ひらがな、ローマ字いずれも使えます。

検索語を入力し、検索開始ボタンを押すと該当する資料が簡略表示画面で出てきます。洋書と和書の区別はなく、入力したキーワードを含んだ資料が出ます [図 2]。そこで搜している資料のタイトルをクリックすると、詳細表示に移り、資料の書誌事項と所蔵データが表示されます [図 3]。(順番は所蔵機関名の最初の漢字の音読みの五十音順のような気がします...)。そして所蔵機関略名をクリックすると、機関名と住所、電話番号などの情報が表示されます。(ファックス番号は記載されていません。)

このようにして、求める資料をどこが所蔵しているかを簡単に調べることができます。冊子体の総合目録に比べて情報の更新が早く所蔵情報が新しいことも魅力です。また、資料の書誌事項調査にも便利です。

インターネットが図書館に導入された折には、まず最初に役立つページになるのではないのでしょうか。(大橋真紀子)

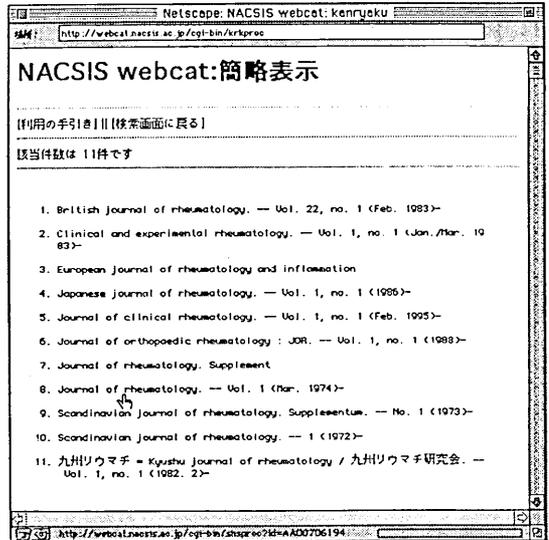


図2.

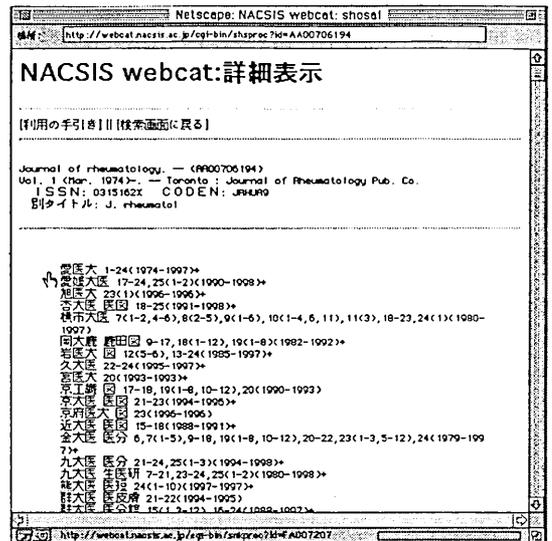


図3.

今号から「今すぐ役立つホームページ」をシリーズ記事で紹介していきます。図書館業務に役立つホームページをご存じの方は、編集部までお知らせください。